

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。



▲西脇小学校木造校舎検討委員会から市教育委員会への答申

西脇小学校木造校舎3棟を保存改修へ

老朽化した西脇小学校の今後のあり方を検討するため、平成26年3月、市教育委員会は西脇小学校校舎基本計画検討委員会に校舎基本計画について諮問しました。

検討委員会では7回の会議を開催、整備方針についてさまざまな視点から協議していただきました。また、検討委員会で生じた技術的な課題に対応するため、専門部会を5回開催し、具体的な対応等についても協議いただきました。

さらに、検討委員会では、市民を対象にアンケートを実施しており、木造校舎保存を望む方が32%、検討委員会で最適な整備方針を検討すること

学校支援ボランティアを募集します

教育委員会では、「学校・家庭・地域」が一体となって地域ぐるみで子どもを育て、学校教育の一層の充実を図ることを目的として、学校支援地域本部事業を行っています。市内の学校で、次のような活動をお手伝いいただける「学校支援ボランティア」を募集します。

- ▼ボランティアの内容
学習支援Ⅱ授業や実験の補助▽環境整備Ⅱ図書室や校庭の樹木等の整備▽安全パトロールⅡ登下校時の通学路安全指導▽学校行事支援Ⅱ運動会などの準備補助▽その他Ⅱ部活動の指導
- ▼登録の方法
登録用紙の提出が必要です。左記へお問い合わせください。
- ▼応募・問合せ
生涯学習課（総合市民センター内／☎22-5996）



あぐいコラム 79 自然の恵みを人から人へ やねだん（柳谷）の取り組み

市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全・安心な農産物の生産拡大を進めています。

「やねだん」（鹿児島県鹿屋市申良町柳谷集落）は120世帯およそ300人が共存する、高齢化が進む典型的な中山間地域の集落です。取り組みの始まりは地元の高校生が福岡ドームでイチロ―を観戦したいとその資金を捻出するため、地域住民から無償提供された30アールの畑で「からいも」の栽培を始

めたことです。その後、「からいも生産活動」は年々拡大し、からいも焼酎の生産販売など、住民が一体となった活動に変貌し、今では地域再生の事例としてテレビや雑誌で大きく取り上げられています。地域資源をうまく活用したところに西脇市が学ぶべき点があるのではないかと思えます。

空いている農地の有効利用やからいもを作るための先生（高齢者や農家）など、今、行われている子供会、老人会や自治会の活動にひと捻り加えることでできる取り組みではないでしょうか？

少子高齢化を迎え、地域の宝である子どもたちの胸の中に郷土愛を育てる取り組みはいろいろな地域のまちづくり活動で行われています。

その活動の一つとして「やねだん」の農業への取り組みをご紹介します。

やねだんホームページ
<http://www.yanedan.com/>

問合せ 農林振興課（市役所内線323）

西脇市消費生活センター No.114 賃貸住宅入居・退去時のトラブルにご注意を

賃貸住宅の契約トラブル未然防止には、契約内容の十分な確認と理解が必要です。

- 【確認事項】**
- ①契約前 敷金・礼金・保証金の必要性、更新料の有無、特約（退去時のカギ交換費用、ハウスクリーニング費用負担）等を確認しましょう。
 - ②入居前 部屋の状況を立会い確認し、写真撮影・記録を残しましょう。
 - ③入居中 契約内容、ルールを守って適正使用しましょう。入居期間中の必要な修繕は、貸主が行うことが基本です。
 - ④退去時 不動産業者、貸主等と部屋の状況を立会い確認し、写真撮影で記録しましょう。

通常損耗等の復旧は貸主が行うことが基本です。原状回復費用を請求された時は、内訳や算出方法について説明を受けましょう。国土交通省の「原状回復ガイドライン」を参考に、話し合いで解決できない場合は、少額訴訟制度等が利用できます。疑問に思うことがあれば、お金を支払う前に消費生活センターに相談ください。

心のスケッチ

73

人権教育室コラム

男女ともに生き生きと活躍する社会

3月8日は、「国際女性の日」です。この日は、国連が女性の社会開発への完全で平等な参加に向けた環境を整備するよう、加盟国に対し呼びかける日となっています。国際的な女性の権利について考える日ですが、日本における女性（と男性）の権利について考えてみます。

現在、男女共同参画社会の実現のため、さまざまな法令や制度が整備されています。男女共同参画とは、一言でいえば、「男性も女性も、一人の人間として、社会に参画し貢献することができる」ということです。

昔は、男女の性別役割分業という考えから、社会や家庭での役割や責任、それに基づく「男らしさ、女らしさ」といった固定観念がありました。しかし、日本経済の発展に伴い、男女ともに「より自分らしく幸せに生きる」ことができる社会にしようという気運が高まり、それまでの社会構造（制度）を変えるためのさまざまな取り組みがなされてきました。その中で、男

女雇用機会均等法や育児休業法といった法令が整備されてきました。これらは、男女ともに社会で働きやすい環境を整えるためのものであり、男女平等という大切な考え方に基づく制度です。これらの制度により、育児休暇の取得等、男女ともに働きやすい社会づくりにつながっています。

西脇市でも男女共同参画社会の形成に向けてさまざまな取り組みをしています。その中で、昨年度は川柳コンクールを、今年度は、「私のまわりのすてきな人」をテーマにフォトコンテストを実施しました。たくさんの方の応募があり、川柳、写真ともに家族への愛情あふれる作品ばかりで、あらためて男女共同参画のあり方について考えるよい機会になりました。

現代社会はまだ完全な男女平等・参画社会ではないかもしれませんが、自分の「家族」「友人」「大切な存在」である人々が、性別に関わらず生き生きと活躍できる社会をつくっていききたいですね。

（人権教育室）

市長からの手紙

西脇を元気に!!

14



西脇市長 片山象二

まちづくりに市民の声を

1月29日、西脇小学校木造校舎検討委員会から「木造校舎3棟を引き続き校舎として使用する」旨の答申書が提出されました。13人の委員の方々に約10カ月間にわたって議論いただいたものです。

一番大切なことは、子どもたちにとって快適な学習・生活環境や安全性を確保することです。80年の歴史ある校舎がこれからの80年も教育現場を支え、「西脇市のシンボル」となるよう取り組んでい



市民による事前のコース清掃



西脇小木造校舎

きます。

2月15日、第7回西脇多可新人高校駅伝大会が開催されました。出場校も年々増加し、国内でも三本の指に入る有力な大会になりました。事前の清掃活動や当日の炊き出し、交通整理、大会運営など多くの市民に支えられ、全国からのお客さまを温かく「おもてなし」することができました。

このように市民の皆さんがさまざまな分野でまちづくりに関わり、まちの将来について真剣に考えてくださっていることをうれしく思います。

このまちに生まれたことを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。